

水稻培土 生産工程（原料乾燥～包装）

原料

乾燥



- ・原料の収集。
- ・ハウス内に広げて、自然乾燥を行う。
- ・乾燥効率を上げるため、トラクターを使用し適宜、攪拌作業を行う。
- ・自然乾燥後は、専用倉庫内にて屋内保管する。
- ・目視にて異物の混入を確認。

粉碎

粉碎機



- ・自然乾燥を行った原料を供給機へ投入。
- ・投入された原料を、細かく粉碎する。
- ・目視にて異物の混入を確認。

造粒

混水練機
造粒機



- ・粉碎した原料を供給機へ投入。
- ・肥料設計に基づき、化成肥料を投入。
- ・練機で原料と肥料を十分に攪拌する。
- ・造粒機でもって、粒を形成する。
- ・造粒後は、ベルトコンベアにて、高温熱風処理装置（ロータリーキルン）へと運ばれる。
- ・目視にて異物の混入を確認。



焼成

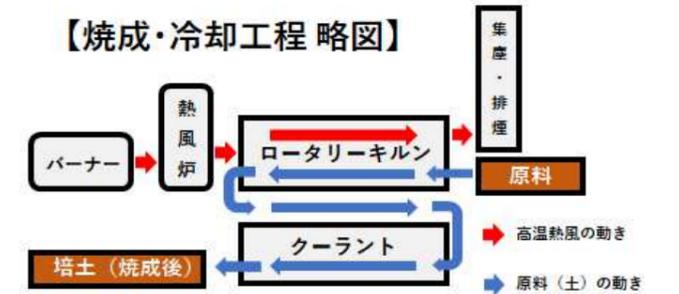
ロータリー
キルン
バーナー
熱風炉
クーラント



- ・ロータリーキルンにより、3kcal/hの燃焼能力にて20分間、900°Cの火力で製品を直接、及び内部温度180°C～200°Cで焼成処理し、乾燥と同時に、雑草の種子の除去及び殺菌処理を行う。
- ・乾燥後はクーラントにて冷却され、粒径選別機（トロンメル）へと運ばれる。
- ・目視にて異物の混入を確認。



【焼成・冷却工程 略図】



選別

トロンメル



- ・トロンメルにより、粒径選別が行われる。
- ・粒径 ～ 4ミリ未満のものが製品となり、製品ホッパーへと運ばれる。
- ・目視にて異物の混入を確認。

包装

自動包装機
ロボットアーム



- ・注文に応じた荷姿にて包装作業を行う。
- ・小袋包装については、自動包装機およびロボットアームによって行われる。
- ・ピンまたはノーピン、どちらの小袋にも対応が可能。
- ・徹底した品質管理のもと、状況に応じて屋内外で保管する。

完了